



第 3 章

音声ポートの設定

この章では、Cisco VG350、Cisco VG310、および Cisco VG320 Analog Voice Gateway および関連サービス モジュール用に作成および変更された CLI を使用して音声ポートを設定する方法について説明します。

この章は、次の内容で構成されています。

- 「前提条件」 (P.3-1)
- 「音声ポートの設定」 (P.3-1)
- 「Cisco IOS 一括設定」 (P.3-3)
- 「次の作業」 (P.3-4)

前提条件

Cisco VG350、Cisco VG310、または Cisco VG320 で音声ポートを設定するには、事前に稼動する IP ネットワークを確立する必要があります。

音声ポートの設定

この項では、次の CLI の変更および修正点について説明します。設定例については、「[Cisco VG350、Cisco VG310、および Cisco VG320 の設定例](#)」 (P.A-1) を参照してください。

- 「loop-length」 (P.3-1)
- 「ren」 (P.3-2)
- 「ring dc-offset」 (P.3-2)
- 「cm-current-enhance」 (P.3-2)
- 「vmwi」 (P.3-2)

loop-length

loop-length CLI は、アナログ FXS 音声ポートを設定するために作成されます。これは次の形式になります。

voice-port x/y/z

[no] loop-length [long | short]

loop-length CLI には次の特性があります。

- Cisco VG350 プラットフォームの場合、デフォルトはショート ループ長です。この CLI は マザーボード スロットのアナログ FXS には適用されません。
- この CLI は、Cisco VG350 プラットフォームのように、SM-D-48FXS-E の 48 個すべての FXS 音声ポートおよび SM-D-72FX の最初の 4 つ (0 ~ 3) の FXS 音声ポートにのみ適用されます。
- Cisco VG310 および VG320 プラットフォームの場合、デフォルトの FXS はショート ループ長であり、ロング ループ長の FXS を設定する必要があります。
- Cisco VG310 では、最初の 8 つの音声ポート (0/0/0 ~ 7) のみがロング ループ (OPX Lite) として設定できます。Cisco VG320 では、最初の 4 つの音声ポート (0/0/0 ~ 0/0/3) のみがロング ループ (OPX Lite) として設定できます。
- Cisco VG320 では、VIC 1 (0/1/0 ~ 0/1/23) の FXS 音声ポートはロング ループをサポートしません。デフォルトでは、これらはショート ループの FXS です。
- 有効にする音声ポートにループ長を設定した後に、shutdown および no shutdown がその音声ポートに必要です。
- ロング ループ (OPX Lite) FXS で 2 REN までサポートされるため、FXS 音声ポートにループ長がロングで設定され、既存の REN 設定が 2 より大きい場合、その REN 設定は自動で 2 に変更され、「The existing ren configuration is changed to 2」というメッセージがコンソールに表示されます。
- ループ長がショートで FXS 音声ポートが設定されている場合で、その音声ポートに ring dc-offset が設定されている場合、ring dc-offset 設定が削除されます。メッセージ「The existing ring dc-offset configuration is removed」がコンソールに表示されます。

ren

FXS 音声ポートでの既存の REN CLI ではループ長がロングで設定された FXS 音声ポートに対して値 1 ~ 2 を取ります。ショート ループ長アナログ FXS 音声ポートの場合、REN CLI は値 1 ~ 5 を取ります。

ring dc-offset

既存の ring dc-offset CLI はロング ループ長 FXS 音声ポートで設定できます。

cm-current-enhance

既存の cm-current-enhance CLI はロング ループ長 FXS 音声ポートで設定できます。

vmwi

既存の vmwi [fsk | dc-voltage] はボード上のすべての FXS 音声ポートで設定できます。

Cisco IOS 一括設定

音声ポートおよび音声ダイヤル ピアに対するオプションの一括設定機能は、時間を節減するために Cisco VG350、Cisco VG310、および Cisco VG320 Analog に導入されています。

group

group オプションは、ダイヤル ピアを一括で設定するために **dial-peer CLI** に追加します。これは次の形式になります。

```
dial-peer group <tag> pots
dial-peer group <tag> pots all stcapp
```

上の 2 番目の CLI は、後に続く 3 つの CLI に拡張することで stcapp ポートとしてすべてのアナログ音声ポートにダイヤル ピアを作成します。

```
dial-peer group <tag> pots
service stcapp
port all
```



(注)

グループ CLI は主に stcapp で制御されるアナログ ポートであるためダイヤル ピアのサブ コマンドの一部のみがサポートされます。

次は、現在サポートされているサブ コマンドです。

1. [port](#)
2. [説明](#)
3. [service](#)
4. [シャットダウン](#)
5. [preference](#)

port

port サブ コマンドは、特定の **group CLI** に対してどのポートを設定するのかを指定します。これは次の形式になります。

```
port <voice port#> [ans | called | dest] <E164 address> [desc <description>]
port <voice port#> [desc <description>]
port <voice port#>
port <start voice port#>-<end port#> [ans | called | dest] <E164 address> <interval>
[desc <description>]
port <start voice port#>-<end port#> [ans | called | dest] <E164 address> [desc
<description>]
port <start voice port#>-<end port#> [desc <description>]
port <start voice port#>-<end port#>
port all [ans | called | dest] <E164 address> <interval> [desc <description>]
port all [ans | called | dest] <E164 address> [desc <description>]
port all [desc <description>]
port all
```

- **voice port#** は、**slot#/subunit#/port#** または **slot#/port#** で構成されます。
- **ans** は **answer-address** の略語で、**dial-peer voice <tag> pots** の下ではサブ コマンドとして同じ意味になります。

- **called** は **incoming called-number** の略語で、**dial-peer voice <tag> pots** の下ではサブ コマンドとして同じ意味になります。
- **dest** は **destination-pattern** の略語で、**dial-peer voice <tag> pots** の下ではサブ コマンドとして同じ意味になります。
- **desc** は **description** の略語で、**dial-peer voice <tag> pots** の下ではサブ コマンドとして同じ意味になります。
- **<interval>** は各隣接ポートとの E164 番号の間隔値を意味します。デフォルトはゼロで、指定できる値は 1 ~ 100 の範囲内です。
- 複数ポート CLI は使用可能で、厳密にポートを指定して 1 つずつ削除するかまたは **no port all** を使用してすべてのポートを一度に削除できます。
- オーバーレイ ポート CLI は許可されません。その結果 **port all** を設定する場合、他の port CLI は使用できません。

説明

「description」サブ コマンドは「dial-peer voice <tag> pots」CLI の下ではサブ コマンドとして同じ意味になります。

preference

「preference」サブ コマンドは「dial-peer voice <tag> pots」CLI の下ではサブ コマンドとして同じ意味になります。

service

「service」サブ コマンドは「dial-peer voice <tag> pots」CLI の下ではサブ コマンドとして同じ意味になります。

シャットダウン

「shutdown」サブ コマンドは、パラメータである all または音声ポート番号を指定する必要があること以外は「dial-peer voice <tag> pots」CLI の下でサブ コマンドとして同じ意味になります。

```
shut [all | <voice port#>]
```

詳細情報および設定例については、「[dial-peer コマンドでのグループ設定](#)」(P.A-4) を参照してください。

次の作業

VoIP の設定手順および debug コマンドの詳細については、次を参照してください。『[Cisco IOS Voice Configuration Library](#)』